

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	医薬品の適正利用		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担当教員	岡崎 美穂	実務経験と その関連資格	登録販売者			
《授業科目における学習内容》						
登録販売者試験の「第5章:医薬品の適正使用・安全対策」について、講義と過去問演習を通じて学習します。添付文書の記載事項(使用上の注意)を正しく理解し、適切な情報提供ができるようになること、および副作用被害救済制度や薬害の歴史を学び、医薬品販売者としての倫理観と実務知識を身につけることを目的とします。						
《成績評価の方法と基準》						
出席・授業態度・テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教員作成資料						
《授業外における学習方法》						
講義内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
出席を大切にしてください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品の添付文書(使用上の注意)の構成と、記載事項の基本ルールを理解する	教員作成資料	講義内容の復習	
	各コマにおける授業予定		【添付文書の基本】添付文書の役割、記載項目の順序、改訂情報の確認方法について、実際の文書例と過去問を用いて学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	「してはいけないこと」の項目のうち、守らないと症状が悪化する事例(アレルギー等)を理解する	教員作成資料	講義内容の復習	
	各コマにおける授業予定		【してはいけないこと①】本剤または成分によるアレルギー症状、喘息発作の既往歴など、過去問から頻出成分を抽出し解説する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	特定の対象者(小児・高齢者・妊婦等)に対する使用制限(してはいけないこと)を理解する	教員作成資料	講義内容の復習	
	各コマにおける授業予定		【してはいけないこと②】15歳未満の小児、妊婦、授乳中の人など、対象者ごとに避けるべき成分と理由を過去問演習で定着させる			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運転操作の禁止や、飲み合わせ(相互作用)による使用制限を理解する	教員作成資料	講義内容の復習	
	各コマにおける授業予定		【してはいけないこと③】服用後の乗物運転操作、アルコール併用、重複服用の禁止事項について、代表的な成分(抗ヒスタミン等)を中心に学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「相談すること」の項目のうち、基礎疾患や診断を受けた人が注意すべき点を理解する	教員作成資料	講義内容の復習	
	各コマにおける授業予定		【相談すること①】医師の治療を受けている人、糖尿病・高血圧・心臓病などの基礎疾患がある場合の相談事項について演習を行う			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	服用後に現れる副作用の兆候と、使用を中止すべき症状(相談すること)を理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【相談すること②】服用後の皮膚症状、消化器症状、精神神経系症状など、副作用の初期症状と対処法について過去問を用いて解説する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品の適切な保管方法、取扱い上の注意、および製品表示のルールを理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【保管・取扱い】品質保持のための保管環境、誤飲防止、容器の入れ替え禁止などの実務知識と試験頻出ポイントを学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品副作用被害救済制度の目的、給付の種類、請求期限などを正確に理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【救済制度①】副作用被害救済制度の仕組みとPMDAの役割、給付対象となる健康被害の範囲について、制度の詳細を学習する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業からの副作用報告制度および、医療関係者からの報告義務について理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【安全対策と報告】副作用報告の期限(15日・30日)、研究報告など、製造販売業者および登録販売者に求められる報告義務を整理する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去の薬害事件(サリドマイド、スモン等)と、それに基づいた安全対策の歴史を理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【薬害の歴史】サリドマイド、スモン、HIV、CJD等の薬害訴訟の経緯と、そこから生まれた安全【薬害の歴史】サリドマイド、スモン、HIV、CJD等の薬害訴訟の経緯と、そこから生まれた安全対策(制度改正)について学ぶ(制度改正)について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品の適正使用のための啓発活動や、行政・業界の役割について理解する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【啓発活動】「薬と健康の週間」「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」などの啓発活動や、PL法(製造物責任法)との関連を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	第5章(医薬品の適正使用・安全対策)全般の知識を統合し、応用力を身につける	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	【5章・総合演習】これまでの学習内容(添付文書～薬害・制度)を網羅したランダムな過去問演習を行い、弱点の洗い出しを行う		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの講座内容全体の知識が定着しているかを確認し、実践できるレベルにあることを証明する	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	総まとめの後半として、知識の最終確認を行う		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	総まとめ	教員作成テスト	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テスト	教員作成資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	テスト		